

東京大学における清華大学ウィーク公開講演会

「中国と日本におけるバイオマス（エネルギー）研究の状況」

主催：東京大学農学生命科学研究科、東京大学生産技術研究所

後援：アグリコクーン

日時：2010年5月13日（木）13:30－17:00

場所：東京大学農学部構内、弥生講堂アネックス
（東京メトロ南北線「東大前」駅下車、農学部正門入ってすぐ左）

言語：英語（通訳なし）

内容：中国におけるバイオマスエネルギー研究の第一人者である清華大学の李十中教授が「[東京大学における清華大学ウィーク](#)」（2010年5月12日～14日）のために来日されるのを機会に、公開講演会を企画いたしました。

日本は資源に恵まれない国です。しかし、少なくとも私たちは日本のバイオテクノロジーは世界のトップレベルにあり続けていると信じています。一方中国では、稲わら・麦わらだけで年間約7億トンを排出、その約半分はそのまま野焼きされていると聞きます。中国はまた、既に年間100万KL以上のバイオエタノールを生産している実践先進国でもあります。今回、近くて親密な関係にあるこの2カ国のバイオマスエネルギー研究者が、お互いのアイデア、研究内容、経験等を持ち寄って、将来の共同研究の可能性を語り合うことは極めて意義のあることだと信じます。

プログラム：（演題はいずれも仮題）

13:00-13:30 参加登録（事前登録不要）

13:30-13:40 開会のことば

五十嵐 泰夫（東京大学大学院農学生命科学研究科・教授）

13:40-14:20 中国におけるバイオ燃料事情とそれに関わる清華大学の研究アクティビティ

李 十中（清華大学新エネルギー研究所・教授）

14:20-14:45 日本におけるバイオエタノール生産と関連する東京大学のアクティビティ

鮫島 正浩（東京大学大学院農学生命科学研究科・教授）

14:45-15:10 アジアにおける「バイオマスリファイナリー」と「バイオマスタウン」の提案と実践

迫田 章義（東京大学生産技術研究所・教授）

15:10-15:30 休憩

15:30-16:10 中国における未利用バイオマス利用と中国農業大学のアクティビティ

崔 宗均（中国農業大学農学微生物技術学院・教授）

16:10-16:35 中国における環境浄化およびバイオエネルギー生産の実践

廣田 隆一郎（中日文化経済交流協会・会長）

16:35-17:00 地産地消型・小規模地燃料生産システムの構築

望月 和博（東京大学生産技術研究所・特任准教授）

17:00-17:25 イネイネニッポンプロジェクト

森田 茂紀（東京大学大学院農学生命科学研究科・教授）

17:25-17:30 閉会のことば

17:40- 懇談会（東京大学農学部生協食堂）

参加費：無料

講演会終了後、李教授、崔教授を囲んで懇談会を予定しております。

コーディネーター：東京大学農学生命科学研究科教授

東京大学生物生産工学研究センター長

五十嵐 泰夫

◆参加お申込方法

事前登録は不要です。当日、直接会場までお越しください。

東京大学農学生命科学研究科 国際交流担当

電話：03-5841-0583 Fax：03-5841-5495

n-kokusai@ofc.a.u-tokyo.ac.jp
